

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年2月28日

児童発達支援センターすまいるキッズ(保育所等訪問支援)

訪問件数

12件 / 9件回収

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○			・その子の様子を細かく見て頂き、自分自身もとても勉強になりました。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	○			・いつも優しくアドバイスして下さい本当に感謝しております。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○				
5	事業所からの支援に満足していますか。	○				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・訪問に来られた際に、対象の子どもの対応を任せっきりになってしまい、これで大丈夫かなと思うことがありました。 ・年度初めに「毎月の予定表」を決めましたがその子の成長に合わせて各月の訪問でもいいのではないかと感じました。前期、後期で予定を分けて組めたら、訪問担当者の負担も軽減されるのではないのでしょうか。今年度はありがとうございました。					・保育所等訪問支援では、対象児への直接支援が含まれているため必要に応じていますが、園や学校の支援や方針に合わせていくことになります。地域の中で適応できる力を伸ばしていくために役に立てるよう支援に努めていきます。 ・訪問する頻度については、児童の状況に応じてまた保護者のニーズと園や学校のニーズをすり合わせながら計画的に訪問介入できるよう改善していきます。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターすまいるキッズ（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年 2月 28日

利用児童数 24件

回収数 14件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7			7		・地域の園や学校等で活用されているツールやアイテム等（主に学習教材）を参考に同様に教材を用意し療育活動に取り入れています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	1		3		・個別に面談できるよう相談室を使用しています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13			1		・新規契約時や保護者説明会において事業の概要等についてご説明しています。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	4				・訪問の頻度や日程について保護者の方のニーズに応じることが難しい場合があります。見てほしい場面についてはご希望を確認するようにニーズを確認していきたいです。
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	9	3		2		・常時2名の職員を配置し、必要に応じて対応できる体制を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		1		・現場支援の経験を活かして、専門的な支援や助言ができるよう日々努めています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	1				・訪問先の担当者より、児童の現状や課題等の情報を得ながら支援や計画作成の参考にさせて頂いています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		・個々に応じて必要な目標を作成し、5領域に沿った支援を意識しています。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			2		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13			1		・コーディネーターを通じて、また各担任に伺いを立てながら訪問支援で介入しています。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			2		・事業所内において、ペアレントプログラムや研修会が実施できていない状況があり、ニーズにお応えできるよう実施に向けて体制を整えていく。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1		1		・児童及び保護者の方に対して、職員一同丁寧な気持ちで支援や対応に努めています。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				・いつもありがとうございます。相談に乗って下さり大変助かっています。	

説明等	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				・訪問した際には、児童の様子について報告書を通してお伝えしています。その他の連絡等については、送迎時や電話連絡を行っています。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	12	1		1		・訪問先からの相談があった場合は、その場で回答したり、内容によっては一旦持ち帰り適切な助言が対応できるよう努めています。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	1		1		・訪問終了後のカンファレンスやケース会議等、必要性に応じて実施し情報の共通理解を図るよう努めています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	14					
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1			・HPやSNSなどの活用が出来ていないため啓発や発信に力を入れていきたい。
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			2		・職員間で個人の情報を共有する場合は、守秘義務や情報の取り扱いについて随時確認していく必要がある。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12			2		・訪問先との緊急時の対応については連携できていない。連携の仕方について相互の理解と検討する必要がある。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		・自然災害に対する避難訓練を毎月実施し、消防署員や地域の分団員の立ち合いを導入し安全管理について助言を得ている。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	14					
	28	事業所の支援に満足していますか。	14					・子供の様子を細やかに本当にその様子が目に浮かぶような丁寧な報告書を頂き報告書を見るのが本当に楽しみです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターすまいるキッズ（保育所等訪問支援）		公表日		令和7年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・地域の園や学校などで活用されているツールや アイテムなどを参考に同様の教材を用意し療育活 動のに取り入れています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・2人体制で訪問支援員を配置し、利用児の状況 や必要性に応じて対応しています。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○			・時間を有効に活用し、支援の質を高めていくた めの業務内容の見直しや改善の工夫が今後の課題 です。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・保育所等訪問支援の評価制度が始まり、保護者 や訪問先の意見を得ることでよりよい支援に活か すことができます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		・課題や疑問があればその都度確認し合いながら 改善に努めています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げている か。		○	・意見要望等があれば、随時対応しています。	・訪問について、時間帯や回数、報告書の内容等 について通年アンケートを実施し改善に努めてい きます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。		○	・島内にて、保育所等訪問支援に関する研修会に 触れる機会が少ないのが現状です。 ・内部、外部に限らず発達支援に関する研修会へ の参加に努めています。	・島内にて保育所等訪問支援に特化した研修に触 れる機会が少ないため、センター連絡会等を通し て他事業所の状況などの情報を収集していきたい です。	
適切 な支 援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		・相談支援事業所と情報を連携しながら、保護者 の主張や希望などを支援目標や支援計画の反映に 努めています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもの状況や目標を踏まえて、その子どもに 関わる支援者と案を見直しを行いながら支援計画 を作成しています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	・園や学校の先生からお子さんの情報を得ながら 支援計画に反映できています。	・専門的な視点からの助言を得て、支援の目標や 手立てに繋げていくためにセラピストの介入を継 続していきたいです。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		・回覧やミーティングで周知できています。 ・前期と後期の2回に児童情報会議を実施し現状 把握と支援の共有化を目指しています。	・支援計画を意識しながら支援を継続できるよう 定期的に振り返る時間を確保する必要があります。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○			・必要な場面に活用できているが、定期的な見直 しや振り返りが十分にできていない状況です。 ・訪問支援に関する確認会議を学期毎に実施を予 定しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		・回覧やミーティングの中で周知できています。 ・前期と後期の年2回に児童情報会議を実施し現 状の把握と支援の共有化を目指しています。	・支援計画を意識しながら支援を継続できるよ う、定期的に振り返る十分な時間を確保する必要 があります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。		○	・療育現場での様子を聞き取り、訪問先での様子 と比較しながら支援に繋がっています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・訪問支援後の報告書を通して、支援の内容を周 知し、ミーティングの中で必要な情報を共有を行 い療育支援に活かしています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		・訪問先での児童の対応や手立て等について、参 考にさせてもらえるよう相談したり、同意を得た りして対応の共有化に努めています。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		・訪問終了後は、内容について報告書を作成し、 訪問先や家庭と情報の共通理解に繋げています。 ・児童が並行利用している場合、事業所間の連携 として報告書を共有しています。	・地域や集団生活の様子と個別療育など小集団の 様子を比較、分析が思うようにできずに十分に検 証できていないのが現状です。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・児童の現状や課題などを共通理解するために訪問担当者や児童発達管理責任者などが会議に参加しています。	・保護者からの依頼や就園・就学への繋ぐための連絡会議を開催しているが、会議の開催や目的等について関係機関の理解や必要に応じた見極めに難しさがあります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・各市町の保健師との連携を目的として、地域連絡会を年に3回実施し各地域の現状や課題などについて相互理解を図っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	・子ども部会に所属し、親の会の立場からの意見や要望がすいあげられ課題解決に向けて検討してもらいます。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・電話連絡や報告書を通して、支援の内容やお子さまの成長などについて報告しています。	・訪問の頻度により、情報を共有する機会が少ないのが現状です。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・外部からの研修開催について、保護者への周知を行っています。	・事業所内部において、ペアレントプログラムや研修会が実施できていない状況があり、ニーズにお応えできるよう実施に向けて準備態勢を整えていくことが課題です。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・利用を開始するにあたって、契約時あるいは契約更新時に運営上の規定や負担金に変更が生じた場合に内容や詳細について説明しています。	・負担金に加えて、支援会議や個別相談などのサービスを利用できること、伴って負担金に加算がつくことについて周知を深めていきたいです。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	・新年度の訪問開始時、または年度途中の新規契約時に訪問支援についてあらかじめ園や学校へ挨拶訪問に伺い説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	・個々に応じた支援内容や目標を説明し、同意を得たうえでサインを頂いています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	・随時相談を受け、気持ちに寄り添いながら必要な助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・随時相談を受け、気持ちに寄り添いながら必要な助言を行っています。	
訪問先施設への説明等	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・月案や必要なお知らせについては、随時配布しています。	・HPやSNSなどの活用が出来ていないため、啓発や発信に力を入れていきたいです。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・広告写真やホームページの掲載など個人情報の取り扱いについて、新規契約時に詳細を説明し同意書にサインを頂いています。	・職員間で個人の情報を共有する場合は、守秘義務や情報の取り扱いについて随時確認していく必要があります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	・必要に応じて多職種からの助言を得ながら、専門的な手立てについて参考までに有効な支援として繋げています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	・訪問支援実施後に時間を頂き、相互の様子など情報を共有出来ています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	・集団生活の様子報告として訪問支援後に報告書を毎回提出しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・訪問先で知り得た情報について、十分に配慮し資料や写真の掲載などについて必要に応じて同意を得ています。	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	・新年度の訪問開始時、または年度途中の新規契約時に訪問支援についてあらかじめ園や学校へ挨拶訪問に伺い説明と了承を得たうえで訪問介入しています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・緊急時や事故対応マニュアル等については、契約時の説明を行い、施設内において図式化して掲載しているか精通できているか定期的に周知していくことが課題です。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・自然災害に対する避難訓練を毎月実施し、消防署員や地域の分団員の立ち合いを導入し安全管理について助言を得ています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・怪我や事故発生時には、報告書を作成しその都度スタッフと情報共有と改善解決策までを検討し、再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・法人内に設置されている委員会において、虐待防止のための対策や人権擁護に関する研修会が定期的に開催されています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	・身体拘束が必要な場合に詳しい内容について新規契約時に説明し、同意書にサインを頂きます。	・拘束が必要な場合その詳細について記録することになっているが現在対象者となる利用児童がいないのが現状です。